

報道関係者各位

ご案内

設立5年目を迎え、不妊体験者によるカウンセラー育成事業を継続展開  
**「第五期 Fine ピア・カウンセラー養成講座」受講生募集！**

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine(ファイン)」は、2009年4月より「第五期 Fine ピア・カウンセラー養成講座」を開講予定です。日本初の不妊に特化したピア・カウンセラーを養成する1年間にわたる講座で、認定試験に合格した Fine 認定ピア・カウンセラーたちは全国で活躍しています。

不妊で悩む人の心のサポートの大切さについて、ぜひ多くの方々に知っていただきたく、貴媒体で取り上げていただければ幸甚です。

### 不妊の心に寄り添うサポートを～当事者によるカウンセリングを実現

「ピア」とは「仲間」という意味で、ピア・カウンセラーとは相談者と同じ心の痛みがわかる体験者(当事者)として話を聞き、心の支えになろうという人たちのこと。NPO 法人 Fine では、不妊体験者への心理面のサポートのひとつとして、2004年の設立当初から「Fine ピア・カウンセラー養成講座」に取り組んできました。

不妊の悩みは特有かつプライベートなことであり、その内容も多岐にわたります。そのため、周囲に悩みを打ち明けられずに孤立しがちな当事者にとって、他者に話すことの大切さはこれまでも語られてきました。そこで NPO 法人 Fine では、不妊当事者によるカウンセリングの実施をめざし、カウンセリングの専門家を講師に招いて心理学的知識と技術を学ぶ本格的なカリキュラムの、独自の養成事業をスタート。現在、4月の第五期開講へ向けて準備を進めています。

1年間の講座修了後、認定試験に合格した「Fine 認定ピア・カウンセラー」たちは、Fine Bloom(わかち合いの会)、カップル・ブルーム、不妊体験後の育児をサポートするカンガルー・プロジェクト、不妊当事者の男性のみを対象とした男性が不妊を語る会などを企画・運営。さらに定期的な電話相談や面接カウンセリング、また医療施設や自治体等の要請で講演やおしゃべり会の進行、スタッフ向けのセミナーなどを行なっています。

Fine 認定ピア・カウンセラーは現在 29 名、開講中の第四期養成講座でも「体験者としてサポートしたい」「自分と同じつらさを味わう人を減らしたい」というメンバーが学んでいます。

### 約 500 名を集めた『Fine 祭り 2008』でも活動の成果を発表

2008年11月に東京都内で開催した、Fine 初の大会『Fine 祭り 2008 ひとりじゃないよ！

不妊』では、Fine 認定ピア・カウンセラーたちが「ピア・カウンセリングのひろば」を展開。面接カウンセリングやわかち合いの会（ミニ体験版）また「医療施設内にこんな場所があったら」という提案などを行ない、多くの来場者が立ち寄りました。

こうしたさまざまな活動はもちろん、ピア・カウンセラーの存在そのものが、自分の不妊体験を今後の人生に生かすひとつのモデルケースとして、今後注目を集めそうです。

参考ウェブサイト：<http://j-fine.jp/matsuri/top.html>

## 「第五期 Fine ピア・カウンセラー養成講座」の概要

日程：2009年4月～2010年3月、毎月第2土曜・日曜（予定）

場所：東京都江東区（予定）

単位数：本科生は不妊当事者のみ参加可能、全36単位（90時間）

\*不妊当事者以外の方は、年間聴講生（全12単位・30時間）、および1単位から受講可能な単位聴講生としてご参加いただけます。

定員：本科生12名（簡単な書類審査あり。定員になり次第締切）

講師（予定）：平山史朗先生（生殖心理カウンセラー）、小倉智子先生（心理士）

医療分野の講義は不妊専門医が担当、心理学分野の講義・実習は不妊心理カウンセリングに携わる心理士、Fine 認定ピア・カウンセラーが担当。

カリキュラム：<http://j-fine.jp/counseling/2009/pia-ca2009.pdf>

受講料：本科生 Fine 正会員 15万円、エール会員 16万円、非会員 17万円  
年間聴講生 5万円、単位聴講生は1単位 5000円

申し込み方法：Fine ウェブサイトの申込書をダウンロードし、必要事項を記入して、Eメール、または郵送にて申し込み。

問い合わせ先：NPO 法人 Fine ピア・カウンセラー養成講座運営事務局 [finepia@j-fine.jp](mailto:finepia@j-fine.jp)

参考ウェブサイト：<http://j-fine.jp/counseling/2009/piacouns.htm>

## これからの Fine の活動予定（2009年1月15日現在）

各種講演・講義など

- ・ 8月6、7日 医療従事者とのワークショップ参加（日本受精着床学会主催）
- ・ 全国各地の医療施設や自治体にて、スタッフ向けのセミナーを実施

Fine 認定ピア・カウンセラーによる電話相談（月2回）面接カウンセリング（随時）

横浜市なかまの相談事業への参加（月1回）

不妊患者の経済的負担の軽減をめざし、国会請願に向けた署名活動を実施

\*Fine 会員は約700名（2009年1月現在）、Fine SNS 登録者約600名。

NPO 法人 Fine（ファイン）URL <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽1-32-4 TEL.03-5665-1605 FAX.03-5665-1606

\*常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです。

E-mail 「Fine ピア・カウンセラー養成講座」のお問い合わせ：[finepia@j-fine.jp](mailto:finepia@j-fine.jp)

その他のお問い合わせ：NPO 法人 Fine 広報窓口：[finekouhou@j-fine.jp](mailto:finekouhou@j-fine.jp)

## NPO 法人 Fine これまでの活動実績（抜粋）

### 『Fine 祭り 2008 ひとりじゃないよ！不妊』を開催

2008 年 11 月 2 日、東京ウィメンズプラザにて開催。不妊で悩む人と、それを応援するサポーターをつなぐ目的で、医師や心理の専門家・看護師などによる 5 つの講演、ジャガー横田さんご夫妻のトークショー、占いや手芸等の体験コーナー、企業等の展示コーナー、「ピア・カウンセリングのひろば」などを展開。来場者約 500 名、各講演・コーナーにのべ約 1750 名が参加。

参考ウェブサイト：<http://j-fine.jp/matsuri/top.html>

### 日本初！不妊当事者団体として、不妊治療の保険適用を求めて国会請願を実施！

不妊当事者団体として初めて、2007 年 10～11 月に、不妊治療に関する薬と検査の保険適用を求めて国会請願を実施。集まった署名は約 15000。衆・参 34 名の国会議員にご協力いただきました。

2009 年、不妊患者の経済的負担の軽減をめざし、国会請願に向けた署名活動を実施。

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

### 不妊に関するさまざまな調査を実施

詳細は Fine のウェブサイト「活動」「アンケート」をご覧ください。

### 各種要望書の提出

これまでに、厚生労働省に新薬認可の要望書、保険適用の効能追加の要望書、自己注射の要望書などを提出。これらの要望が実現しています！

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/ziko/yobo-ziko.html>

### カウンセリング事業

専門家によるカウンセリングの実施、ピア・カウンセラーによる電話相談、面接カウンセリング。

### 会報誌「えでいっと」・メールマガジン「Are you Fine?」の発行

### 学会・研究会への参加・発表

iCSi（国際不妊患者団体連合）に参加（2004 年ベルリン、2005 年コペンハーゲン）

看護協会研修センターにて講演（2004 年 9 月、2005 年 9 月、2006 年 8 月・10 月）

不妊カウンセラー・体外受精コーディネーター養成講座にて講演（2004 年 10 月、2005 年 10 月）

iCSi2008（2008 年 2 月ブタペスト）では日本代表として発表 ほか

### 媒体関係（取材や協力）

朝日新聞、東京新聞、日本経済新聞、北海道新聞、毎日新聞、読売新聞 他

NHK「クローズアップ現代」、日本テレビ系「今日の出来事」、日本テレビ G+「医療ルネッサンス」、

NHK「@ヒューマン」 他

週刊朝日、赤ちゃんが欲しい、AERA 他

### その他

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加（2005 年、2006 年、2007 年、2008 年）

NPO 法人 Fine（ファイン）URL <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽 1-32-4 TEL.03-5665-1605 FAX.03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです。

その他のお問い合わせ：NPO 法人 Fine 広報窓口：finekouhou@j-fine.jp